

〔別 紙〕

様式 1

事 業 報 告 書
(自 令和 3 年 8 月 1 日 至 令和 4 年 7 月 31 日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人社団 和優会

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり)

② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
☐ 出資額限度法人 ☒ その他

③ ☒ 基金制度採用 ☐ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 静岡県静岡市葵区新伝馬一丁目 11-23

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 平成 23 年 3 月 11 日

(4) 設立登記年月日 平成 23 年 4 月 5 日

2 事業の概要

(1) 本来業務 (開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数	
診療所	望月内科消化器内科クリニック	静岡県静岡市葵区新伝馬一丁目 11-23	一般病床	床
			療養病床	床
			[医療保険	床]
			[介護保険	床]

(2) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 3 年 9 月 21 日 令和 3 年 7 月期決算承認の件

令和 4 年 7 月 31 日 令和 4 年度の事業計画及び収支予算の決定

” 令和 4 年度の借入金額の最高限度額の決定

” 役員の重任

様式 2

法人名 医療法人社団 和優会
所在地 静岡市葵区新伝馬一丁目11-23

※医療法人整理番号					
-----------	--	--	--	--	--

財 産 目 録
(令和 4 年 7 月 31 日現在)

1. 資 産 額	111,328 千円
2. 負 債 額	22,793 千円
3. 純 資 産 額	88,535 千円

(内 訳)	(単位：千円)
区 分	金 額
A 流 動 資 産	83,486
B 固 定 資 産	27,842
C 資 産 合 計 (A + B)	111,328
D 負 債 合 計	22,793
E 純 資 産 (C - D)	88,535

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。	
土 地	(□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))
建 物	(□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))

様式 3 - 3

法人名 医療法人社団 和優会
所在地 静岡市葵区新伝馬一丁目11-23

※医療法人整理番号				
-----------	--	--	--	--

貸 借 対 照 表
(令和 4 年 7 月 31 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	83,486	I 流 動 負 債	6,492
II 固 定 資 産	27,842	II 固 定 負 債	16,301
1 有 形 固 定 資 産	7,774	負 債 合 計	22,793
2 無 形 固 定 資 産		純 資 産 の 部	
3 そ の 他 の 資 産	20,068	科 目	金 額
		I 資 本 剰 余 金	0
		II 利 益 剰 余 金	84,535
		1 代 替 基 金	0
		2 その他利益剰余金	84,535
		III 評 価 ・ 換 算 差 額 等	0
		IV 基 金	4,000
		純 資 産 合 計	88,535
資 産 合 計	111,328	負債・純資産合計	111,328

様式 4 - 2

法人名 医療法人社団 和優会
所在地 静岡市葵区新伝馬一丁目11-23

※医療法人整理番号

損 益 計 算 書
(自 令和 3 年 8 月 1 日 至 令和 4 年 7 月 31 日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	122,658
2 事業費用	106,496
本来業務事業利益	16,162
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	—
2 事業費用	—
附帯業務事業利益	—
事業利益	16,162
II 事業外収益	735
III 事業外費用	50
経常利益	16,847
IV 特別利益	—
V 特別損失	—
税引前当期純利益	16,847
法人税等	3,918
当期純利益	12,929

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。